

水産庁

プレスリリース

平成20年6月6日
水産庁

第2期北西太平洋鯨類捕獲調査船団の出港について(沖合調査)

第2期北西太平洋鯨類捕獲調査の概要についてお知らせします。

1. 出港日、場所

平成20年6月6日(金曜日)、大井水産物埠頭

調査母船「日新丸」(8,044トン 小川知之船長以下131名)

※大井水産物埠頭については、今般、洞爺湖サミット開催に伴い、警戒レベルが上げられていることから、埠頭内に立入りはできません。

平成20年6月6日(金曜日)、山口県下関港

目視採取船「勇新丸」(720トン 廣瀬喜代治船長以下21名)

目視採取船「第二勇新丸」(747トン 佐々木安昭船長以下21名)

平成20年6月6日(金曜日)、広島県瀬戸田港

目視採取船「第三勇新丸」(742トン 三浦敏行船長以下21名)

平成20年7月1日(火曜日)、宮城県塩釜港

餌環境調査/目視専門船「海幸丸」(860.25トン 新屋敷芳徳船長以下25名)

餌環境調査/目視専門船「第二共新丸」(372トン 竹下湖二船長以下21名)

平成20年7月15日(火曜日)、静岡県清水港

餌環境調査船「俊鷹丸」(887トン 寺田靖船長以下28名)

2. 調査期間

平成20年6月6日～8月下旬

3. 目的

- (1) 鯨類の接餌生態、生態系における役割の解明
- (2) 鯨類及び海洋生態系における海洋汚染の影響の把握
- (3) 鯨類の系群構造の解明

4. 捕獲頭数

本調査における捕獲予定数

ミンククジラ 100頭

イワシクジラ 100頭

ニタリクジラ 50頭

マッコウクジラ 10頭

5. 調査実施機関

(財)日本鯨類研究所

(独)水産総合研究センター遠洋水産研究所

参考

北西太平洋における鯨類の資源量推定値

ミンククジラ 約2万5千頭

ニタリクジラ 約2万5千頭

イワシクジラ 約6万9千頭

マッコウクジラ 約10万2千頭

— お問い合わせ先 —

資源管理部遠洋課

担当者: 捕鯨班 高屋、増山

代表: 03-3502-8111(内線6724)

ダイヤルイン: 03-3502-2443

[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁